

『経営行動科学』投稿における AI 利用ポリシー

「経営行動科学」に投稿される学術論文の執筆・投稿・査読に関わる AI ツールの利用に関する基本方針を以下のように定める。

①AI ツールの著者資格について

AI ツールは著者資格を持たない。AI ツールは論文の内容に関する説明責任を果たすことができず、著作権の対象外であるために、著者としての資格を有しない。

②AI ツールによる生成物の利用制限

AI ツールを用いて作成した文章や画像は、法的に許容される方法で作成された場合を除いて論文での利用を認めない。著者は生成物の正確性、出所、著作権の適法性を確認し、使用に関する説明責任を負う。

③AI ツール利用時の開示義務

論文執筆において AI ツールを利用した場合は、使用したツール名とバージョン、利用目的、利用範囲を明記し、著者の貢献について透明性を確保しなければならない。

④査読における利用制限

シニア・エディターおよび査読者は、機密保持および著作権保護の観点から、投稿論文の全てもしくは一部を AI ツールに入力してはならない。また、査読コメントの作成に AI ツールを使用することも禁止する。

注：「法的に許容される方法」とは、文化庁が示す「AI と著作権に関する考え方」に基づき、著作権法その他の関連法令に違反しておらず、生成物の利用が適法であると判断できる方法を指す。

2025 年 11 月 16 日策定